

令和元年度 F C 東京連携事業一覧表			
No	担当課	事業名	新規・継続
1	広報課	調布市公式 SNS での魅力発信	継続
2	広報課	調布の魅力 フォトコンテスト 2019	継続
3	広報課	調布市暮らしの便利帳 2019 発行	継続
4	人事課	「令和 3 年度調布市職員採用案内」への画像掲載	継続
5	管財課	ポスター掲示, チラシ・パンフレットの配架, 懸垂幕の設置	継続
6	文化生涯学習課	令和元年度調布市広島平和派遣	新規
7	協働推進課	第 6 回調布まち活フェスタ	継続
8	産業振興課	FC 東京「調布の日」	新規
9	産業振興課	FC 東京花火	継続
10	産業振興課	FC 東京バナーフラッグ	継続
11	産業振興課	デジタルサイネージ(実証実験)への協力事業	新規
12	子ども政策課	いじめや虐待のないまち宣言 PR 事業	継続
13	福祉総務課	第 69 回”社会を明るくする運動”	継続
14	高齢者支援室	Jリーグ FC 東京「高齢者体操教室」	継続
15	障害福祉課	あおぞらサッカースクール in 調布	継続
16	保険年金課	個人情報目隠しシール及び封筒でのドロンパ使用	継続
17	社会教育課	杉の木青年教室	継続
18	社会教育課	成人式	継続
19	指導室	FC 東京選手会小学校訪問	継続
20	北部公民館	我が FC 東京パネル展	新規
21	図書館	「FC 東京選手の私のすすめるこの一冊 2019」発行	継続
22	社会福祉協議会	FC 東京×赤い羽根共同募金 協働企画	継続
23	調布市文化・コミュニティ振興財団	調布よさこい 2019	継続
24	体育協会	第 5 回調布市小・中学生バレーボール交流大会	継続
25	体育協会	第 17 回調布フットサル大会	継続
26	体育協会	第 37 回調布市民スポーツまつり	継続
27	体育協会	第 64 回調布市民駅伝競走大会	継続
28	体育協会	第 59 回調布市民体育祭開会式	継続
29	スポーツ振興課	子どもサッカー体験教室	継続
30	スポーツ振興課	FC 東京 小学生サッカー教室&指導者講習会	継続
31	スポーツ振興課	FC 東京 2019 シーズン終了報告会	継続
32	スポーツ振興課	FC 東京×ブラインドサッカー@講演会	新規
33	スポーツ振興課	FC 東京グッズを身に着けて応援しよう! 企画	新規
34	スポーツ振興課	飛田給駅構内 FC 東京カラーリング	新規
35	スポーツ振興課 産業振興課	調布駅前広場シンボルツリーの青赤ライトアップ	新規
36	広報課 スポーツ振興課	FC 東京「選手から市民向けのメッセージ」 「石川 CC 庁内生放送」	継続
37	産業振興課 スポーツ振興課	調布市 FC 東京と連携したまちづくり等の推進に関するプロジェクト・チーム	継続

広報課

事業名称 調布市公式 SNS での魅力発信

(新規・継続)

実施日

随時

事業内容

FC 東京の選手の学校訪問、シーズン報告会などの様子をフェイスブックで投稿したほか、優勝争い中に FC 東京の選手や石川 CC から市民に向けてのコメントを撮影し、市公式 SNS (フェイスブック・ツイッター) で写真や動画を配信した。



感想

FC 東京の投稿内容は閲覧者の反応が良くフェイスブックやツイッターでは常に多くのいいねが付いている。また、優勝に向けた動画の配信をほぼ毎日行うことで、優勝争いをの雰囲気盛り上げることができた。

課題

選手や石川 CC, FC 東京のスタッフの皆さんからコメントなどをもらい、定期的に市 SNS で投稿することが新たなファンの獲得につながるのではないかと感じた。

※試合に向けて意気込みのコメントだけでなく、学校訪問や商店会訪問後の選手たちの感想なども掲載したい。

広報課

事業名称 調布の魅力 フォトコンテスト 2019

(新規・継続)

実施日

作品募集：令和元年9月20日（金）～11月5日（火）午前9時
審査期間：令和元年11月5日（火）～12月9日（月）

事業内容

市では、市の公式SNSアカウントの認知度向上や調布のまちの魅力発信などを目的に、「調布の魅力 フォトコンテスト 2019」と題し、「世界に向けて発信したい、調布の今」をテーマにフォトコンテストを実施した。

その中の部門賞としてFC東京賞を設け、FC東京の関係者の方々に審査をしていただいた。受賞者にはご提供いただいたFC東京グッズ（トートバッグ）を賞品としてお渡しした。



FC東京賞受賞作品「夕陽が沈むスタジアム」

感想

本コンテストの受賞作品は市公式SNS（フェイスブック・インスタグラム）での「いいね」数で決定した。FC東京賞は「いいね数」とは切り離れた選定であるため、受賞作品の決定に公平性を担保する効果が期待できる。今後も継続してお願いしたい。

課題

課題としては、写真を募集する際にFC東京賞があることを強調し、FC東京賞狙いの写真を多く応募してもらうことで、フォトコンテストをもっと盛り上げることができたと感じた。次回開催は、広報についてご相談させていただきたい。なお今回は、一度FC東京賞を選定していただいた作品が応募要件を満たしていないことが後から判明し、再選定の御手間をおかけしてしまった。今後はこのようなことのないよう、受付時の応募要件確認を徹底したい。

広報課

事業名称 調布市暮らしの便利帳 2019 発行 (新規・**継続**)

実施日 令和元年年7月

事業内容

令和元年 7 月に発行した調布市暮らしの便利帳に、FC 東京を紹介するページを設け、チーム沿革や地域貢献活動の報告等を掲載。

発行部数：14万部(市内全戸配布)

規格：A4 フルカラー 168ページ(表紙を除く)



感想

市内に全戸配布する冊子に FC 東京の情報を掲載することで、市民の市と FC 東京への愛着醸成に繋がった。また、転入者に対しても市の大きな魅力として発信することができた。

課題

今後、ページ数やスペース確保の課題はあるが、選手達からのコメントを写真付きで掲載することで、親近感が生まれ FC 東京への愛着の増進に繋がると思う。また、発行が 2 年に 1 回のため、常に最新の情報でないことが課題である。

人事課

事業名称「令和3年度調布市職員採用案内」への画像掲載 (継続)

実施日 令和2年3月発行

事業内容 職員採用案内に、FC東京と連携して実施した事業の画像を掲載し、採用試験受験者に少しでも市の仕事のイメージが伝わるよう、より魅力的な職員採用案内を作成する。



(今年度新たに実施又は拡充した内容があれば記載)

感想

採用案内の東京2020大会に向けた取組紹介のページに、FC東京と連携して実施した「FC東京 子どもサッカー体験教室」の様子を掲載しました。市民の方にスポーツに興味・関心をもってもらうために、FC東京と連携したイベントを実施していることを採用試験受験者に紹介することで、市職員の多様な仕事のイメージを伝えることができた。

課題

今後は、市民とFC東京の選手だけでなく、市職員がFC東京の選手などと連携・協力している様子が伝わる写真を掲載し、採用試験受験者が市の仕事に対するイメージをより感じられるような採用案内を作成していきたい。

管財課

事業名称 ポスター掲示，チラシ・パンフレットの配架，懸垂幕の設置
(新規・継続)

実施日 通年

事業内容 依頼に応じて，市庁舎内の掲示板での試合日程等のポスター掲示及びチラシ・パンフレットの配架，懸垂幕の設置を行った。

(今年度新たに実施又は拡充した内容があれば記載)

感想 年間を通じて，F C東京の情報発信を行うことができた。

課題 現在の事業内容だけではなく，必要に応じて総合案内前スペースの活用等を行うことができる。

文化生涯学習課

事業名称 令和元年度調布市広島平和派遣

(新規・継続)

実施日 令和元年7月29日～31日

事業内容 実施会場、参加者等の概要などを記載

次世代を担う子どもたちを被爆地である広島市へ派遣し、戦争・平和に関する現地施設の見学等を通じて戦争の悲惨さや平和の大切さについて肌で学ぶ機会を設け、その成果を広く市民へ還元することを目指す。派遣期間中、市民の方に折っていただいた鶴を献納するため、広島へ持って行く際にFC東京の紙袋を使用する。

参加者：市内在住・在学の中学生 12名



感想

FC東京の紙袋使用により、市民の代表として、市内で折られた鶴を持参するという、意識づけにも寄与できたと思われる。令和2年度以降も紙袋の使用を継続するとともに、よりチームとして平和祈念事業に関わっていただけるような取組を検討したい。

課題

派遣した中学生のみでは、直接広島市へ献納できる数に限度があるため、献納の方法について検討が必要。また、選手が事業に参加する子ども達と関わる機会をつくるなど、チームとして平和祈念事業に関わっていただくような取組を考えていきたい。(別途協議中)

協働推進課

事業名称 第6回調布まち活フェスタ（中止）

（新規・**継続**）

実施日 令和2年3月8日（日） 10:00～15:00

事業内容 調布まち活フェスタは、市内で活躍する市民活動・地域活動団体等の出展を通じて、各活動のさらなる活性化を目指すイベントです。

今回は、イベントの全体企画としてビンゴラリーに御参加いただいた方々を対象とし、応募抽選式で豪華景品が当たる企画を実施する予定でした。FC東京様から御提供いただいたFC東京選手のサイン入りボール（2個）をその豪華景品の1つとする予定でした。しかし、新型コロナウイルスの影響により第6回調布まち活フェスタは中止となりましたので、御提供いただいたボールは、別のイベントの場等で活用させていただきます。

感想 例年同様、多くの方にイベントに御来場いただけると期待しておりましたが、中止になってしまい非常に残念です。

課題 例年FC東京様からは、サッカーボールを御提供いただき大変ありがたく思っております。次年度以降も同様にボールの御提供をお願いしたいのと、例えばFC東京ブースを設けて出展していただくなど、今までより発展した御協力をいただけると大変嬉しいです。

産業振興課

事業名称 FC 東京「調布の日」

(新規・継続)

実施日 平成31年4月14日

事業内容

2019 明治安田生命 J1 リーグ第 7 節 vs 鹿島アントラーズ(14:00 キックオフ/味の素スタジアム)を「調布の日」とし、市民招待(500 組 1000 人)に加えて、同スタジアム南側広場「青赤パーク内」での PR ブース出展やステージ出演で「映画のまち調布」の PR を行った。

※PR ブース (調布市立図書館「FC 東京選手の私のすすめるこの一冊 2019」冊子配布・調布名物「デカ盛り」ガッツリカツカレー販売)

その他、ハーフタイムにはフィールド上で、「映画のまち調布」応援キャラクター「ガチャラ」とミス調布の 3 人が、東京ドロンパと一緒にグリーティングを実施した。



感想

肌寒い天候であったが、「FC 東京選手の私のすすめるこの一冊 2019」は FC 東京のサポーターだけでなく、鹿島アントラーズのサポーターからも好評で、予定よりも早く配布が終了してしまうほどだった。ガッツリカツカレーも昼時には挑戦者が続々と現れ、市の PR ブースは大盛況だった。

多くの来場者 (38,414 人) があつた試合でのいい PR 機会となつた。

課題

より効果的な PR となるよう、イベントの紹介や物産品販売等、充実した PR の検討をしたい。

産業振興課

事業名称 FC 東京花火

(新規・継続)

実施日 令和元年9月7日

事業内容 映画のまち調布花火 2019 (第37回調布花火)

打上時間 17:30~18:30

チームカラーの青・赤を使用した花火を FC 東京の応援ソングとともに協賛花火として打ち上げた。



感想

市内外から多くの観客が訪れる調布花火において、FC 東京と調布市のパートナーシップをPR することができた。

課題

多くの来場者への広報が見込めるため、「FC 東京を応援するまち調布」の、より効果的なPR となるよう、検討していきたい。

産業振興課

事業名称 FC 東京バナーフラッグ

(新規・継続)

実施日 令和元年12月初旬から令和2年3月末頃まで

事業内容 市内商店会の街路灯へ FC 東京のオリジナルバナーフラッグを取り付け、一定期間掲示し、市として FC 東京を応援する事業。



上布田商栄会街路灯



天神通り商店会街路灯

感想

調布の街へ訪れる方々へ、調布市が FC 東京を応援しているということを幅広く周知できたと感じる。

課題

令和2年度は、東京 2020 大会が開催されるため、掲載する期間が限られる。なるべく掲示できる期間を増やす工夫等していきたい。

産業振興課

事業名称 デジタルサイネージ（実証実験）への協力事業 **（新規・継続）**

実施日 通年

事業内容 市が協力する下記実証実験に対し、研究目的の達成水準を高めるため、デジタルサイネージに表示する FC 東京のコンテンツ作りを行う。主に、コンテンツに必要な素材（チーム情報、写真、映像等）の提供に御協力をいただく。サービスインは、5月初旬を予定。

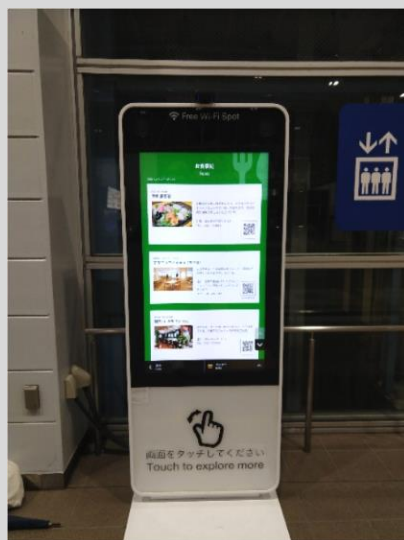
【実証実験】

主催：地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

期間：2018/10/1～2020/9/30

テーマ：IoT（デジタルサイネージ）とビッグデータを活用した
デジタルエリアマネジメントソリューションの研究

台数：2台（飛田給駅・味の素スタジアム周辺）



感想

大型集客施設を有する地域課題の解決を目的とする本研究は、利用者（取得データ）の増加が不可欠であり、FC 東京サポーターをメインターゲットにした企画・準備を進めているところ。クラブ及びサポーターにとってもメリットのある企画としていきたい。

課題

FC 東京のホームゲームは、オリパラによる特殊な開催日程やコロナウイルスによる日程変更の影響を受けている。実証実験も残り半年近くとなり、より効率的・効果的な取組が求められる。また、クラブの既存サービス・企画、試合運営、イメージ等に配慮する。

子ども政策課

事業名称 いじめや虐待のないまち宣言PR事業

(新規・継続)

実施日 令和元年11月2日

事業内容 実施会場、参加者等の概要などを記載

いじめや虐待を無くすことをテーマに、子どもたちに絵を描いてもらい、その絵をごみ収集車へ貼ることで、普及啓発を目的としたごみ収集車出発式を行った。

FC東京にいただいた協賛品をもらい子どもたちが大変喜んでいました。

【会場】

市役所前庭

【参加者】

小学校1年生から6年生までと保護者 100名

(今年度新たに実施又は拡充した内容があれば記載)

特になし



感想

当日は天候にも恵まれいじめや虐待の啓発として、とても良いイベントができた。

毎年参加してくださる方も多く、いつもありがとうございます、自分の絵が貼られた収集車を見れるのが楽しみですというお声を多く頂いた。

課題

イベントの合間に、個人個人でごみ収集車と写真を撮れる時間があるが、その時間が少ないように感じたので、来年はその時間を10分程度伸ばしてもいいのではないかと思う。

福祉総務課

事業名称 第69回“社会を明るくする運動”

(継続)

実施日 令和元年7月7日，11月24日

事業内容 ①：【新規】7月7日(日)味の素スタジアムにおいて開催されたガンバ大阪戦において，開場時に，FC東京カラー(青赤)を取り入れた“社会を明るくする運動”実施事業PR用リーフレットとティッシュペーパーを配布し，ハーフタイム時に“社会を明るくする運動”の横断幕を持ち，ピッチを一周するなど事業のPR活動に取り組んだ。市内の中学生5人も活動に参加した。また，東京フットボールクラブ株式会社様から，市内の中学生を対象に，500組1,000名分の招待チケットを御用意いただきました。

②：【継続】11月24日(日)ドルトン東京学園グラウンドにおいて，サッカーを通じて子どもたちに夢を与えるとともに，非行防止と健全育成に役立てることを目的とし，FC東京の御協力をいただき，調布市と狛江市に在学の中学生を対象としたサッカー教室を開催しました。また，東京フットボールクラブ株式会社様から，当日参加した中学生に，FC東京デザインのノートとキーホルダーをいただきました。(来場者数 178人)

なお，毎年7月に開催しておりましたが，熱中症が心配されるため，今年度は時期を11月にずらして開催しました。



←FC東京ホームゲーム
PR活動の様子



サッカー教室の様子→

感想

①：中学生5人も参加し，来場者約2万8千人に向けてPRすることができ，大変有意義なものになったと思います。

②：例年とは開催時期，会場を変更しての開催となりましたが無事に怪我等もなく実施することができました。7月に行っていたころと比べて熱中症の心配も少なくて良いという声もありました。

課題

①②共通：参加人数が少ない。参加人数を増やすため，サッカー部の顧問の先生に通知するなど周知方法を工夫したいと思います。

高齢者支援室高齢福祉担当

事業名称 JリーグFC東京「高齢者体操教室」

(新規・**継続**)

実施日 令和元年11月8日

事業内容

実施場所：文化会館たづくり むらさきホール

参加人数：15人

内容：FC東京のトレーナーを講師に招き、転倒予防等の体操や高齢者向けにアレンジされた運動を行い、介護予防の普及啓発を図った。



感想

参加者の感想（抜粋）

- ・無理のない体操を週1回続けていきたいです。
- ・年に2回お願いしたいです。

課題

参加者の満足度は非常に高いが、参加者によって運動能力に差があり、体操の難易度の設定が難しい。

障害福祉課

あおぞらサッカースクール in 調布

(新規) **継続**

実施日 毎月第2日曜日（4・8月は除く）

事業内容 主に知的・発達障害のある方向けのサッカースクールです。FC 東京コーチ陣に加え、外部コーチ（NPO法人トラッソス）にもお越しいただき、サッカーを教えてもらいました。障害の程度に合わせたクラス設定をしていただき、参加者の得意なこと・できることに合わせた内容で楽しむことができました。また偶数月には「交流会」という形で他市のチームも交えて試合を行いました。

【会場】

ゼビオスポーツパーク調布

【クラス種別】

- ・重めの障害をお持ちの方を対象としたエンジョイクラス（定員 20 名）
- ・軽めの障害をお持ちの方を対象としたチャレンジクラス（小学生クラス定員 20 名／中学生以上クラス 定員 20 名）



感想

継続的な運動の機会が得られることがありがたく、今後もぜひ継続してほしいという参加者からの声が多かったです。コーチたちとスクール生の関係も非常に良く、サッカーの技術だけでなく多くのことを学ぶ機会になっています。

課題

今年度から開始した「交流会」について、会場の確保に頭を悩ませることが多かったです。また、障害の程度が重い参加者については、試合形式の「交流会」だと参加を諦めてしまっており、幅広い層が参加できる企画を考えたいと感じます。

保険年金課

事業名称 個人情報目隠しシール及び封筒にドロンパを使用（継続）

実施日 平成31年4月1日～令和2年3月31日

事業内容

市民へ給付の通知を送る際の個人情報目隠しシールにFC東京マスコットの東京ドロンパを印刷して使用している。（通知方法変更のため、令和元年10月末で使用終了。）

また、特定健診受診券の送付封筒に、「調布市はFC東京を応援しています。」のフレーズを印字しFC東京マスコットの東京ドロンパを挿入してPRを行う。特定健診対象者は40～74歳の国保被保険者。



感想

事業の感想を記載。

通知した方からの感想や反響を得られるものではないが、調布市がFC東京を応援していることのPRになると考え、今後も継続させていただきたい。

課題

社会教育課

事業名称 杉の木青年教室

(新規・継続)

実施日 令和元年5月12日

事業内容

会場：味の素スタジアム

参加者数：26人（杉の木青年教室登録者16人，ボランティア10人）

内容：中学校特別支援学級を卒業した方を対象としたレクリエーション事業の一環として、毎年FC東京に御協力いただき、「FC東京サッカー観戦」を行っています。

FC東京様には、「FC東京対ジュビロ磐田戦のチケット」をご提供いただきました。



感想

試合中は応援団の大きなかけ声に合わせて手拍子したり、声を出したりして、熱い声援を送りました。この日はFC東京が勝利を収めることができ、参加者は大満足の1日でした。

課題

令和2年度より、「杉の木青年教室」の活動内容が変更となるため、サッカー観戦を行わないことになりました。そのため、今後も何かしら「杉の木青年教室」はFC東京とつながりを持てるようにできればと考えております。

社会教育課

事業名称 成人式

(新規) **継続**

実施日 令和2年1月13日

事業内容

会場：グリーンホール大ホール

参加者数：1, 234人

内容：新成人へのビデオメッセージ放映（3選手）、抽選会景品（開幕戦チケット20枚、メッセージ付開幕戦チケット応募券500枚）の提供

（今年度新たに実施又は拡充した内容があれば記載）

成人式当日に新成人に記念品として渡す封筒のうち500枚に、開幕戦チケット応募券（「新成人おめでとう」とメッセージが書かれているドロンパの形をした応募券）をご協力いただいた。



感想

20歳前後の若者で組織する成人式実行委員会のメンバーがビデオメッセージの収録を行っており、実行委員の経験として、貴重な機会の1つとなっている。

課題

ビデオメッセージや、抽選会の景品のご協力をいただいていることについて、引き続き情報発信に努めて参りたいと思います。

実施日 令和元年7月8日

事業内容 FC東京の選手が市立小学校を訪問し、質疑応答や実技披露、給食等の時間を過ごし児童との交流を図りました。

【対象】

柏野小学校 6年生 105人

第二小学校 5年生 63人



学校申込みによる、キャラバン隊小学校訪問も別途実施。

感想

児童及び学校に好評な事業であるため、来年度も継続していただけたらと思います。

課題

北部公民館

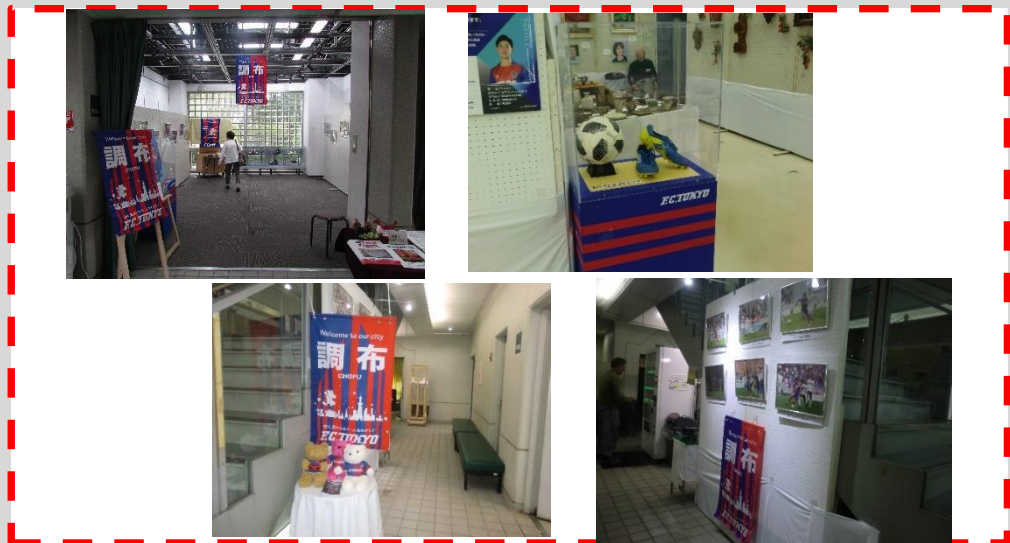
事業名称 我らがFC東京パネル展 (新規)

実施日 令和元年10月17日(木)～11月3日(日)

事業内容 実施会場 調布市北部公民館 1階展示ギャラリー
10月26日(土)から11月3日(日)は北部地域文化祭に突入し、1階ロビーにパネル展示、2階学習室での喫茶コーナーエリアで平川怜選手のパネル及びシューズの展示を行う。展示総数21点

参加者 一般来場者 2182人
地域文化祭期間中は、来場者が多いうえに、未就学児から高齢者まで幅広い世代にご覧いただけた。(文化祭入場者数…1881人)

(今年度新たに実施又は拡充した内容があれば記載)



感想 北部公民館で初のFC東京関連事業で、実施した期間は対象や目的に合ったもので適していたと思われる。若い人達はフラッグを見るとすぐに反応していた。サッカーになじみのない方が地元出身選手の存在を知る機会となった。

課題 高齢者と子ども(孫世代)がいっしょに参加できるイベント(運動系ではなく文化系活動)、サッカーに馴染みのない方向けにルール解説講座など実施したい。

図書館

事業名称 「FC東京選手の私のすすめるこの一冊2019」発行
(新規・継続)

実施日 平成31年4月10日から令和2年2月21日まで

事業内容 FC東京の協力を得て「FC東京選手の私のすすめるこの一冊2019」作成、2000部印刷。
前年に続きトップチーム全選手からの回答をいただくことができた。
また冊子のレイアウトを大幅に変更し、新たに試合日程や図書館マップを掲載した。
中央図書館4階FC東京応援展示コーナーで冊子の配布と掲載本の展示及び貸出を行ったほか、4月14日に味の素スタジアムで産業振興課・商工会の協力を得て700部の配布を行った。



感想 配布期間内に2000部全て配り終えることができた。図書館の利用者にも好評で冊子に掲載している本を借りていく姿が見受けられた。

今後も図書館FC東京応援事業及び読書啓発として継続していき、冊子の内容にもさらに厚みを増していきたい。

課題 味の素スタジアムでの配布の際は700部の持参では足りなかったため、配布部数を増やすなどして1人でも多くのサポーターに手に取ってもらえるようにしたい。

さらに味の素スタジアムでの配布の他にも外部配布の機会があれば、積極的に参加していきたい。

調布市社会福祉協議会

事業名称 FC東京×赤い羽根共同募金協働企画

(新規・**継続**)

実施日 令和1年11月23日

事業内容 東京都共同募金会ならびに共同募金調布地区協力会とFC東京の協同で「赤い羽根共同募金」募金活動を実施しました。

①当日限定！「青赤の羽根」登場

当日味の素スタジアムで募金活動にご協力いただいた方へ、FC東京のチームカラーである青赤にちなんで特別に製作された「青赤の羽根」を手渡しました。(当日限定/先着5,000枚)

②2019年度オリジナルコラボピンバッジの販売

FC東京チームマスコットである東京ドロンパがデザインされたオリジナルピンバッジを販売しました。ピンバッジの売上から製作費を除いた全額を、赤い羽根共同募金として寄付をしました。(1個500円/1,200個限定)



感想

FC東京との赤い羽根共同募金協働企画も8年を迎えました。当日募金協力をしていただいた方にFC東京のチームカラーである青赤の羽根をお渡ししました。また、チャリティーコラボピンバッジを1,200個限定で製作し、製作費を除いた額を赤い羽根共同募金として寄付をしました。雨天の中での募金活動でしたが、FC東京の選手やアカデミーの選手、スタッフの皆さんにもご協力をいただきました。協働企画の実績は年々上がっており、今年度は794,421円ものご協力をいただきました。

課題

今後も協働企画を実施することで、より多くの方に募金活動について知っていただき、調布市内の福祉をよくするために取り組んでいきたいと思っております。

実施日 令和1年8月25日

事業内容 実施会場

- ・調布駅前広場
- ・旧甲州街道（調布駅前～布田駅前）
- ・調布市グリーンホール

実施概要：

①調布駅前広場にFC東京ブース設置。

キックターゲット（無料）と東京ドロンパふわふわ（5分200円）を実施。

②FC東京の柄を使用した鳴子（シール提供）を200組400個用意し、会場3か所で配布。

③スタンプラリー用景品の提供（ノート、クリアファイル：300組+@）

（今年度新たに実施又は拡充した内容があれば記載）

・「東京ドロンパふわふわ」は今年度初実施。炎天下での行列待ちを回避するため、30分毎の時間帯に分けた参加券を作成し販売したところ、スムーズな対応が出来たと考えている。（約400件の参加）



「東京ドロンパふわふわ」「キックターゲット」



「FC東京鳴子」



「東京ドロンパふわふわ・チケット販売」

感想

「東京ドロンパふわふわ」

駅前広場に大きな“ふわふわ”を設置したことで、遠目からもイベントを実施しているという印象が高くなった。

課題

現状においては特になし。

体育協会

第5回調布市小・中学生バレーボール交流大会

(継続)

実施日 令和元年 12月 22日 (日)

事業内容

【内容】

市内及び近隣地区の小中学生を対象としたバレーボールの交流大会

【会場】

調布市立第三中学校第1・第2体育館

調布市総合体育館

【参加チーム】

小学生／12チーム 中学生／14チーム



課題

スケジュールの都合もあるが、FC 東京バレーボールチームの選手と参加選手との交流の場を設けたい。

体育協会

第17回調布フットサル大会

(継続)

実施日 令和元年 12月 15日 (日)

事業内容

【内容】

市内で活動するチームを対象としたフットサル大会

【会場】

ミズノフットサルプラザ調布

【参加チーム】

ミックス/8チーム 初心者/5チーム



課題

FC東京賞（マフラータオル）の提供いただいている。

今回よりサッカー人口の底辺の拡充を狙い、経験者を中心とした「一般の部」を未経験者が参加しやすい「初心者の部」に変更した。結果としては集客に非常に苦戦をした。個人でも参加しやすい仕組みがあると良い、とのご意見もいただいたので、今後検討していく。

体育協会

第37回調布市民スポーツまつり

(継続)

実施日 令和元年5月26日(日)

事業内容

【内容】

味の素スタジアム及び周辺施設で様々なスポーツアトラクションを展開し、幅広い年齢層の市民がスポーツに触れる機会を提供する。会場で配布しているスタンプラリーカードに各アトラクションでスタンプを押してもらい、5つ貯まれば味の素グループの賞品をプレゼントした。

【会場】

味の素スタジアム／AGF フィールド／多摩障害者スポーツセンター
MFP 調布／MAP 味の素スタジアム

【来場者】

17,500人



感想

SNSに投稿してくれた人にオリジナル缶バッジをプレゼントした。姉妹都市である木島平村みゆき野FCとの交流大会へ石川直宏CCに来場いただき、交流会を行った。毎年FC東京の選手等が来場いただくのは子ども達のモチベーションに繋がっている。

課題

季節外れの暑さの中での開催だった。また、市内小学校の多くが前日運動会だったため、前年に比べ来場者が少なかった。今年も5月の開催を予定している。暑さ対策、感染症対策を含めて準備を行う。

体育協会

第64回調布市民駅伝競走大会

(継続)

実施日 令和2年1月26日(日)

事業内容

【内容】

市民を対象とした駅伝競走大会

【会場】

アミノバイタルフィールド・都立武蔵野の森公園

【参加者】

295チーム(1,475人) / 来場者 3,000人



感想

昨年に引き続き、アミノバイタルフィールドでの開催となった。当日はあいにくの天候により50チーム以上が出走を見送ったが、295チーム、約1,500人の方にご参加いただいた。当日行ったアンケートにはスタッフに対する労いの言葉も多くいただいたが、今回のような天候も想定すると味の素スタジアム本体での開催を希望するといった、ご意見を多くいただきました。

課題

FC東京賞(敢闘賞)及び参加賞配付用のランドリーバッグの提供いただいている。選挙のめいすいくんやラガマルくん等のキャラクターが来場することが多いので、ドロンパの日程が合えば出演をお願いしたい。

体育協会

第 59 回調布市民体育祭開会式

(継続)

実施日 令和元年 9 月 1 日 (日)

事業内容

【内容】

夏季, 秋季, 冬季と全 29 競技, 約 10,000 人の市民が参加する競技会の総合開会式。開会式のオープニングプログラムとして, F C 東京の選手より激励の言葉の V T R を流した。

【会場】

調布市グリーンホール 大ホール

【参加者】

900 人



感想

今回は室谷選手, 橋本選手, 東選手, 永井選手の 4 名から応援メッセージをいただきました。

スポーツ振興課

事業名称 子どもサッカー体験教室

(新規・**継続**)

実施日 令和元年11月9日

事業内容 FC東京コーチ陣による指導の下、サッカー未経験者を中心に親子、小学生がサッカーを楽しみました。

前半を年長児・小学1年生の部、後半を小学2年生～6年生の部として実施しました。

【会場】

市民西町サッカー場

【参加者数】

年長児・小学1年生の部 83名

小学2年生～6年生の部 84名



感想

鬼ごっこなどを取り入れたサッカー未経験者でも楽しめる内容で実施いただいた。「サッカーは初めてだったけど鬼ごっこもできて楽しかった」「初めて試合形式でボールを蹴れて楽しかった。」と好評の声をいただいた。

課題

コーチとしてオリンピックの梶山陽平も来てくれて、教室開催後に保護者や子どもと写真撮影等対応いただき、来場者も喜んでいました。

次年度以降、サッカー未経験者でも楽しめるという点をPRできるような募集方法を検討したい。

スポーツ振興課

事業名称 FC東京小学生サッカー教室&指導者講習会 (新規・**継続**)

実施日 令和元年6月22日・7月13日・7月20日

事業内容 主旨：FC東京がサッカーを通じて調布の子どもたちに夢を与えたい，調布市に貢献したいという思いから，調布市のサッカー関係者の協力のもとに味の素スタジアム近くの調布基地跡地運動広場サッカー場で，調布市内の少年サッカー連盟と連携して，市内在学の小学生を対象に，プロコーチによる指導を実施。その際に，地元少年チームの指導者にも参加してもらい，指導者講習会もかねて実施するもの。

対象：市内在学の小学生及び少年チームの指導者

会場：調布基地跡地運動広場サッカー場

参加費：無料

募集方法：調布市少年サッカー連盟より各チームへ案内

【参加人数（延べ人数）】

小学4～6年生 214人

指導者 30名

感想 例年実施いただいている事業。次年度以降も引き続き実施したい。

課題

スポーツ振興課

事業名称 FC東京 2019 シーズン終了報告会

(新規・継続)

実施日 令和元年12月10日

事業内容 たづくり1階ロビーで4人の選手(森重真人選手・宮崎幾笑選手・鈴木喜丈選手・ナッタウット選手)がリーグ戦終了の報告と日頃の声援に対するお礼のため、調布市を訪問。市長・副市長・市議会議長・副議長への報告後サポーター120人に対して、2019シーズンの報告や来シーズンへの意気込みをお話いただき、選手への質問コーナーやサイン色紙抽選会などを行った。



感想

「今シーズン最も印象に残ったことはなんですか」「長谷川健太監督について教えてください」など市民と選手の交流の機会を作ることができた。サポーター以外の市民の参加が増えるようにPRしていきたい。

課題

スポーツ振興課

事業名称 FC東京×ブラインドサッカー®講演会

(新規・継続)

実施日 令和2年1月30日

事業内容 文化会館たづくりでFC東京石川直宏クラブコミュニケーターと5人制サッカー（ブラインドサッカー）の日本代表強化指定選手である寺西一さんによる講演会を実施。「ブラインドサッカーってどんなスポーツ？」や「共生社会に向けて」というテーマのトークセッションや、参加者同士ペアになり、一人が目隠しをした状態でもう一人の声のガイドを頼りに図形を書いてみる「ブラインド体験」や、ブラインドサッカー体験も取り入れた。



感想 「目が見えない状態の人にどう伝えたらわかりやすく伝わるかとても勉強になった。」「東京2020大会の5人制サッカーが楽しみになった」など好評をいただいた。

課題

引き続き、パラスポーツの普及や障害理解の促進のため体験会など様々な事業を展開していきたい。

スポーツ振興課・産業振興課

事業名称 FC東京グッズを身に着けて応援しよう！企画（新規・継続）

実施日 令和元年11月22日・29日

事業内容

念願のリーグ制覇に向けて「最後の1秒まで」戦い抜くFC東京を後押しするために、職員の皆さんにFC東京グッズを身に着けていただき、応援の気持ちを表していただく企画を実施。

グッズを持っていない職員のためにオリジナル缶バッジの製作、配布を行った。



感想

図書館で「FC東京応援コーナー」を設置するなど、積極的に協力いただいた職員のおかげで多くの職員に企画の実施を伝えることができた。ユニフォーム等お持ちいただけなかった職員もいたため、今後も引き続きクラブ応援の機運を高めて行きたい。

課題

スポーツ振興課

事業名称 飛田給駅構内のF C東京装飾（新規・継続）

実施日 令和元年11月11日から

事業内容 「調布市F C東京と連携したまちづくり等の推進に関するプロジェクトチーム」発案事業の一環。念願のリーグ制覇に向けて「最後の1秒まで」戦い抜くF C東京を後押しするために、飛田給駅改札正面に横断幕、駅構内北側のエレベーター周辺のラッピングに協力した。



感想

RWC 2019開催時の装飾を参考に、道路管理課の協力もあり実施できた。他にも飛田給駅周辺でのPR活動を検討したい。

スポーツ振興課・産業振興課

事業名称 調布駅前広場シンボルツリーの青赤ライトアップ（新規・継続）

実施日 令和元年11月22日・23日・29日・30日

事業内容

念願のリーグ制覇に向けて「最後の1秒まで」戦い抜くFC東京を後押しするために、調布駅前広場のシンボルツリーをホーム戦前日及び当日青赤にライトアップした。



感想

街づくり事業課の協力もあり実施できた。引き続き駅前広場を利用したPR活動を検討したい。

課題

広報課・スポーツ振興課

事業名称 FC東京「選手から市民に向けたメッセージ放送」
「石川直宏CC庁内生放送」

(新規・継続)

実施日 令和元年11月20日～12月6日

事業内容

令和元年11月19日時点でJリーグ首位に位置するFC東京を応援するため、ホームゲーム開催日前等に、選手11人及び石川直宏クラブコミュニケーターから市民へのメッセージを、市SNSで順次発信するほか、昼休みの時間帯に庁内生放送を行った。

<放送日>

11月20日、22日、25日、27日、29日、12月6日



(石川CC生放送時)

感想

FC東京が首位に立ち、アウエー戦8連戦を終えホームスタジアムに戻ってくるタイミングで市民及び職員向けの機運醸成につなげる取組みの一環として、広報課・スポーツ振興課の連携により実施できた。石川CCの生放送などより多くの方へ、市としてFC東京を応援していることを認識してもらえきっかけとなったと思う。

今後も何かの節目のタイミングでこのような取組みを実施できるよう検討していきたい。

課題

産業振興課・スポーツ振興課

調布市FC東京と連携したまちづくり等の推進に関するプロジェクト・チーム（新規・継続）

実施日	令和元年10月25日
事業内容	<p>FC東京創設20周年を契機に、FC東京と連携した協働のまちづくり等を推進することを目的として、調布市FC東京と連携したまちづくり等の推進に関するプロジェクト・チームを設置（平成30年1月）。副市長をリーダーとし、公募委員も含む21名の委員が次の事項について検討を行うもの。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) FC東京創設20周年記念関連事業の推進における市の取組に関すること。(2) FC東京と連携したスポーツ振興、青少年の健全育成、市民の健康づくり及び地域経済活性化等に資する協働のまちづくりの推進に関すること。(3) ホームゲーム来場者及びクラブサポートメンバーの拡大等、FC東京の活動の応援に関すること。(4) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項に関すること。 <p>○令和元年度第1回全体会 令和元年10月25日 （内容）PT及び各連携事業実施課における20周年事業の取組報告 11月下旬のホームゲームに向けて市として盛り上げるアイデア リーグ優勝時の盛り上げ 今後に向けた連携事業案</p>
感想	<p>FC東京クラブ20周年を契機に発足したPTで、2019シーズン好調なFC東京を後押しするために、市としてできる内容を検討。この全体会で出た意見をもとに庁内放送や飛田給駅装飾、FC東京グッズを身に着けて応援しよう！企画や駅前広場シンボルツリー青赤ライトアップなど多数の事業を実施できた。PT及び関連企画についてはテレビ東京や各新聞社からの取材も受け、市とクラブの連携をPRすることができた。</p>
課題	